

第2章 町民の健康状態と第一次計画の評価

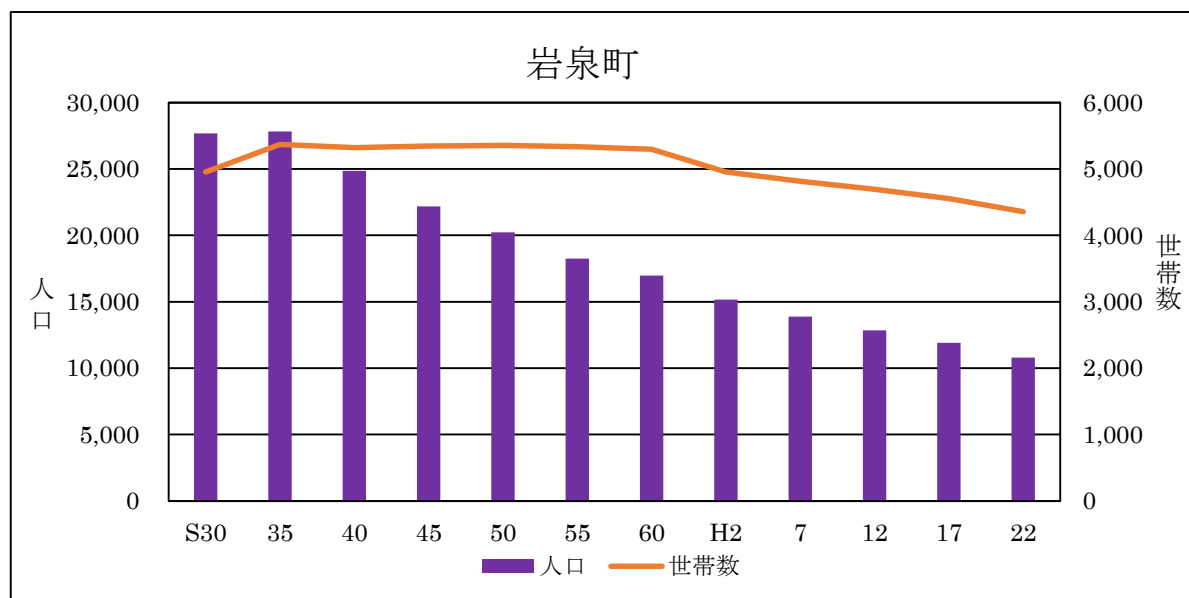
第1節 町の概要

1 町の概況

岩泉町は、岩手県東北部に位置し、北上山系から分岐する標高1,000m級の急峻な連山に囲まれた山間の町です。東西51km、南北41km、992.90km²の広大な面積を有し、実に県土の約6.4%を占めています。

2 人口と世帯

岩泉町の人口は、昭和35年の27,813人をピークに減少に転じ、ここ10年では、平成12年の12,845人から平成22年10月1日（平成22年国勢調査時）現在で10,804人へと2,041人減少しています。

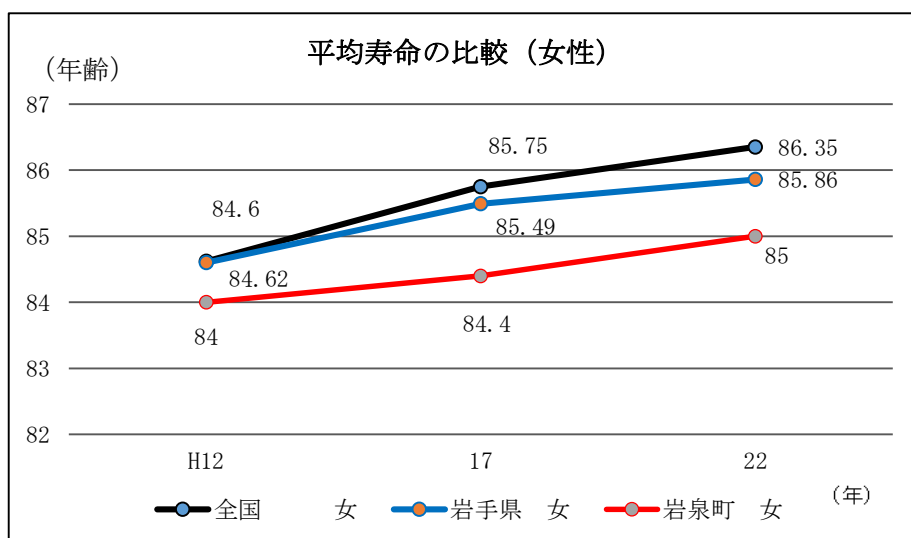
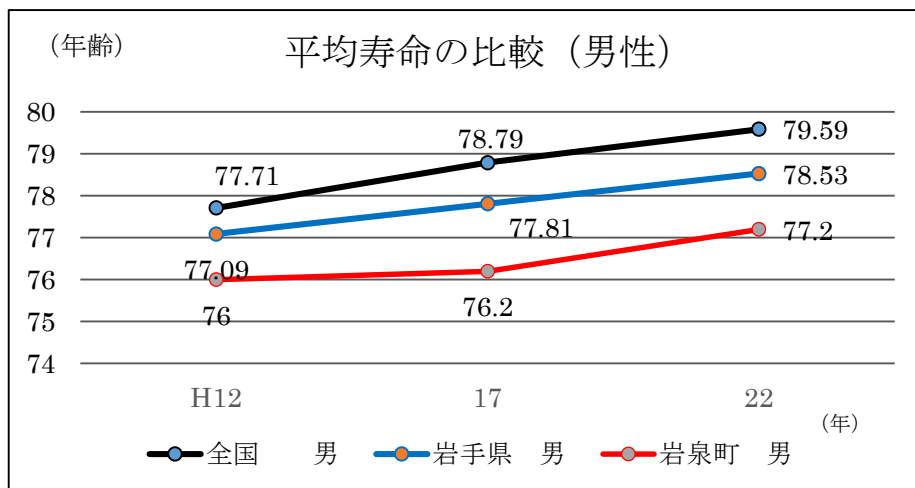


(年)	S30	40	45	50	55	60	H2	7	12	17	22
人口(人)	27,665	27,813	24,846	20,219	18,236	16,959	15,164	13,879	12,845	11,914	10,804
世帯数(世帯)	4,954	5,371	5,322	5,345	5,353	5,336	5,298	4,952	4,816	4,555	4,357

第2章

第2節 町民の平均寿命

平均寿命については、男女とも年々伸びていますが、平成22年には男性77.2歳、女性85歳と国・県と比較すると、低い数値となっています。



第3節 町の人口動態

1 年齢3区分別人口の推移

(1) 年齢別人口

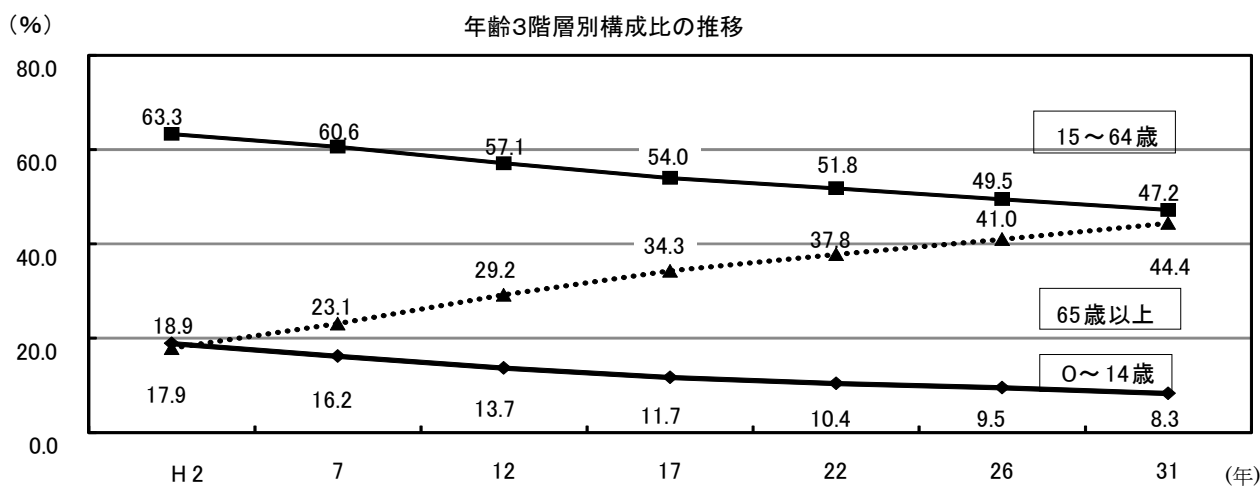
年齢構成は、急速に高齢化が進み、総人口に占める65歳以上の人口比率は、平成31年には約44.4%になると予測されます。平成22年に比べて65歳以上の構成比が6.6ポイントの上昇となります。

表一年齢3階層別人口の推計

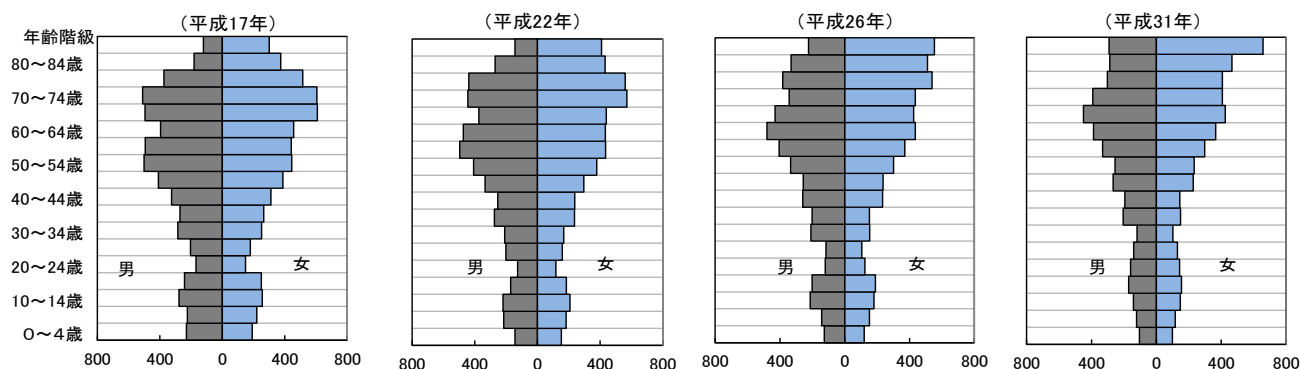
(単位:年、人)

年齢階層	H2	7	12	17	22	26	31
0～14歳	2,860	2,253	1,761	1,399	1,121	950	750
	18.9%	16.2%	13.7%	11.7%	10.4%	9.5%	8.3%
15～64歳	9,593	8,416	7,335	6,431	5,599	4,950	4,250
	63.3%	60.6%	57.1%	54.0%	51.8%	49.5%	47.2%
65歳以上	2,711	3,210	3,749	4,084	4,084	4,100	4,000
	17.9%	23.1%	29.2%	34.3%	37.8%	41.0%	44.4%
計	15,164	13,879	12,845	11,914	10,804	10,000	9,000
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資料:「国勢調査」平成26年以降は推計



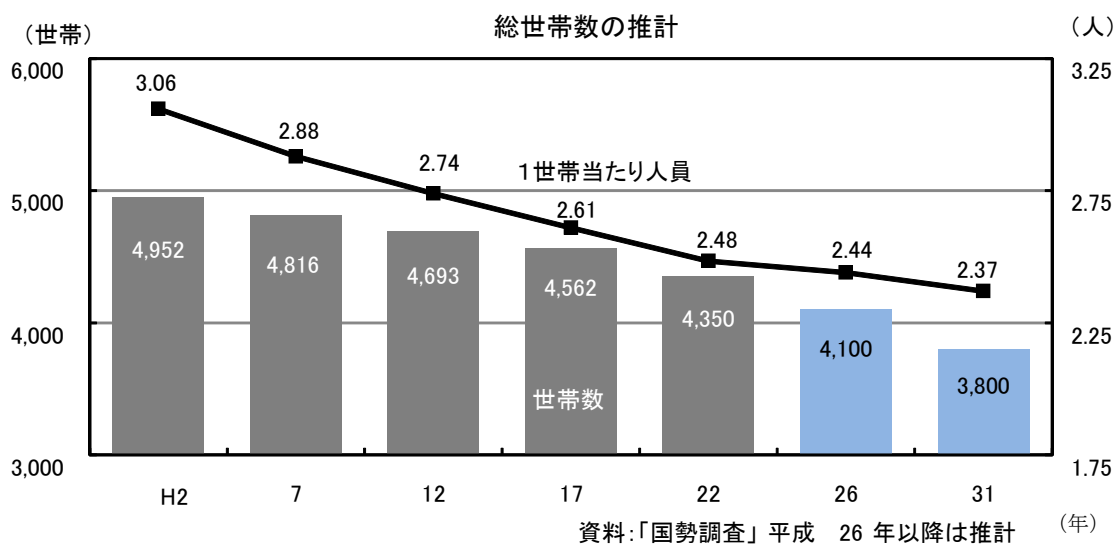
資料:「国勢調査」平成26年以降は推計



第2章

(3) 世帯数

人口の減少に伴って総世帯数も減少し、平成31年には3,800世帯と、平成22年に比べて550世帯が減少するものと予測されます。



(4) 就業者数

就業者数は生産年齢人口の減少と連動し、平成31年には3,800人と、平成22年に比べて約1,100人の減少が予測されます。産業別に見ると、第1次産業で約130人、第2次産業で約260人、第3次産業で約700人が減少する見込みです。

表一産業3分類別就業者数の推計

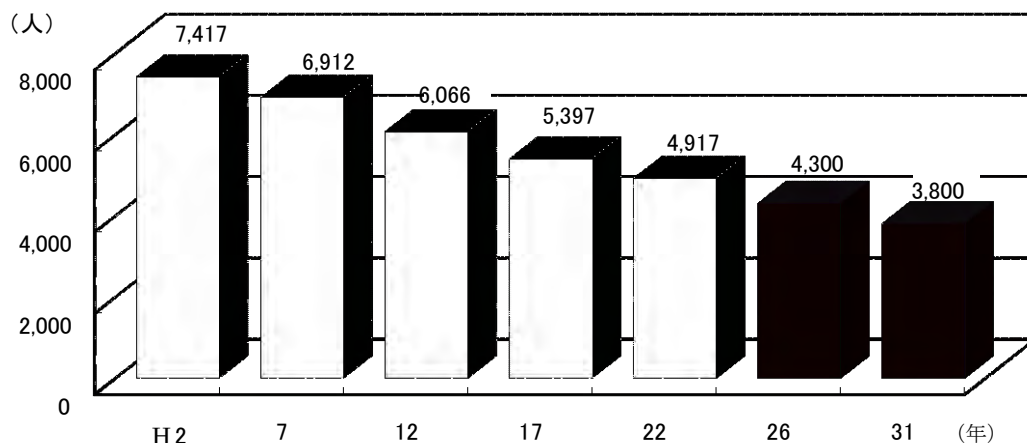
(単位:人、%)

区分	H2	7	12	17	22	26	31
第1次産業	2,367	1,910	1,492	1,324	1,286	1,200	1,150
	31.9%	27.6%	24.6%	24.5%	26.2%	27.9%	30.3%
第2次産業	1,900	1,789	1,559	1,249	1,067	900	800
	25.6%	25.9%	25.7%	23.1%	21.7%	20.9%	21.1%
第3次産業	3,150	3,213	3,015	2,824	2,564	2,200	1,850
	42.5%	46.5%	49.7%	52.3%	52.1%	51.2%	48.7%
計	7,417	6,912	6,066	5,397	4,917	4,300	3,800
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

資料:「国勢調査」平成26年以降は推計

第2章

就業者数の推計



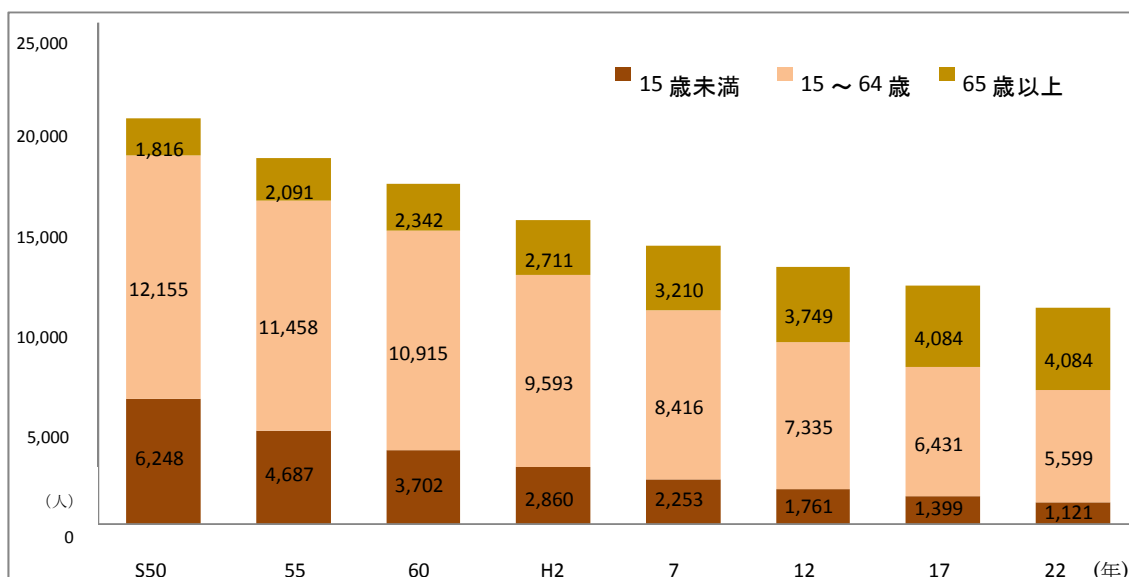
資料:「国勢調査」平成26年以降は推計

2 老年人口と高齢化率の推移

65歳以上の高齢者は4,084人、高齢化率は37.8%で、県平均の27.2%を上回り、今後も全人口は減少傾向で推移し、更に高齢化は進むものと予測されます。

区分(年)	S50	55	60	H2	7	12	17	22
全人口	20,219人	18,236人	16,959人	15,164人	13,879人	12,845人	11,914人	10,804人
15歳未満	6,248人	4,687人	3,702人	2,860人	2,253人	1,761人	1,399人	1,121人
15～64歳	12,155人	11,458人	10,915人	9,593人	8,416人	7,335人	6,431人	5,599人
65歳以上	1,816人	2,091人	2,342人	2,711人	3,210人	3,749人	4,084人	4,084人
高齢化率	9.00%	11.50%	13.80%	17.90%	23.10%	29.20%	34.30%	37.80%

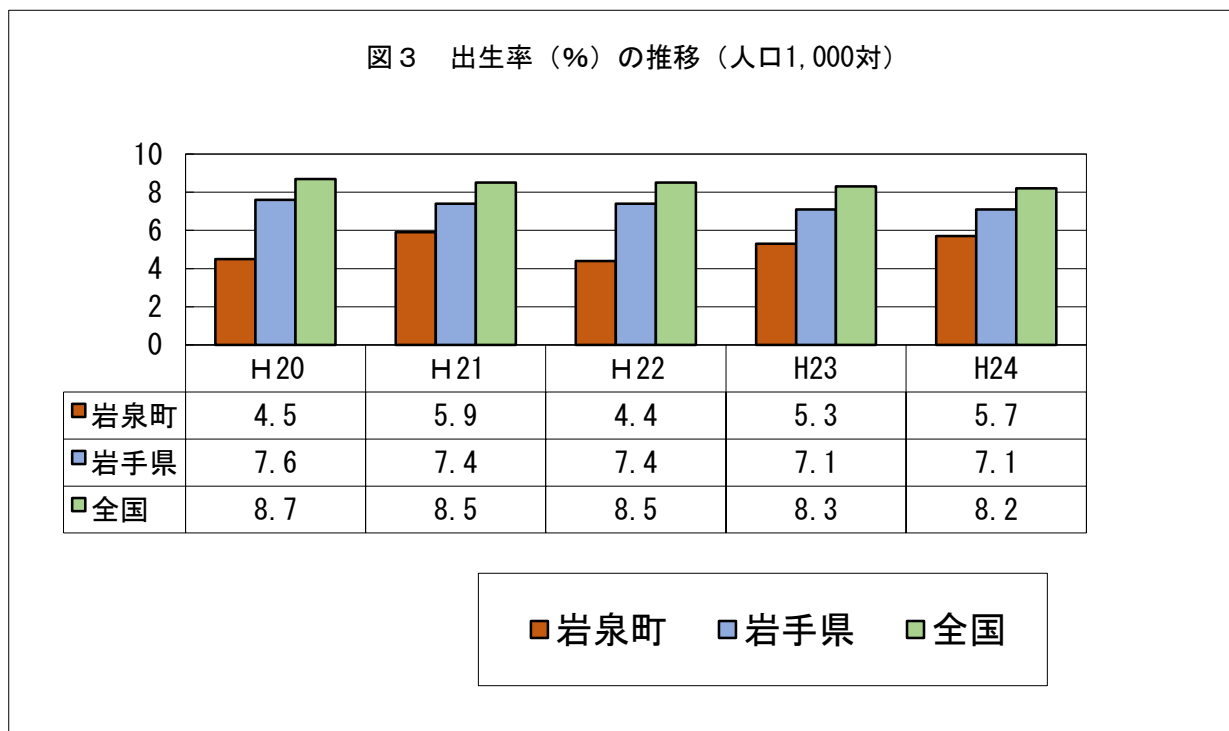
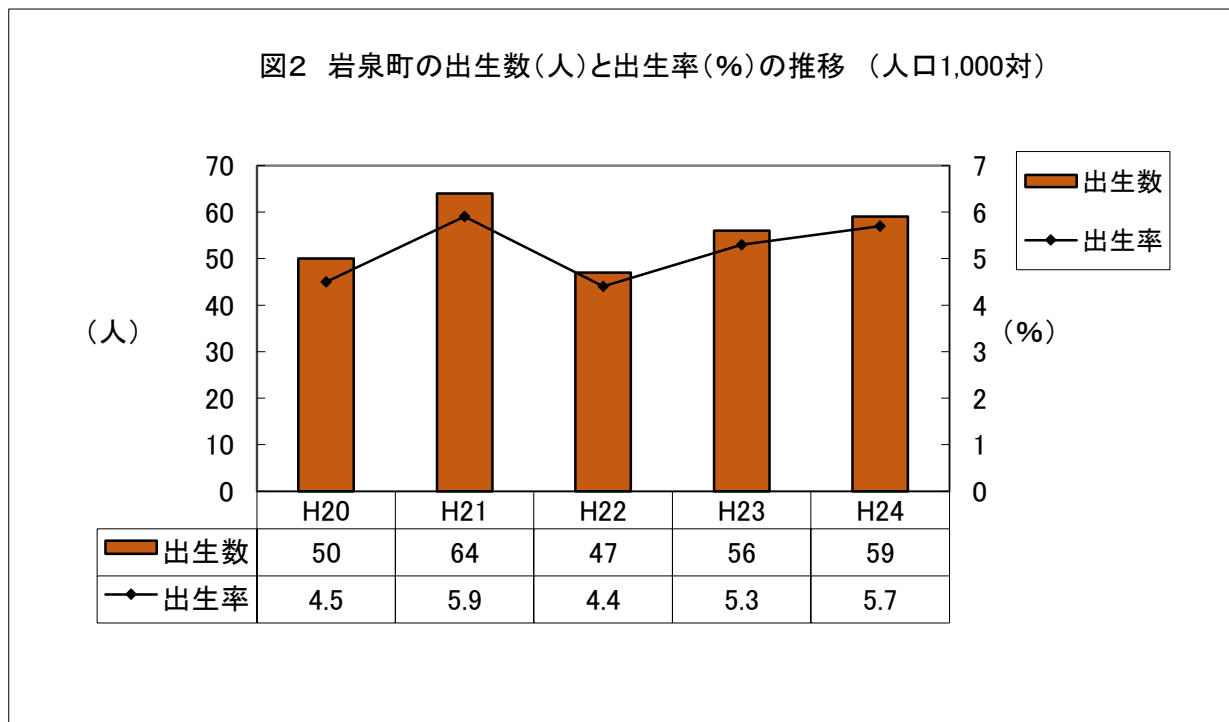
※国勢調査結果[各年国勢調査(10月1日現在)]



第2章

3 出生状況の推移

この5年間の本町の動向は、図2、図3のとおりで、出生率については、全国・岩手県が減少しているのに対し増減を繰り返しています。しかし、今後も少子化傾向は続いていくことが予想されます。

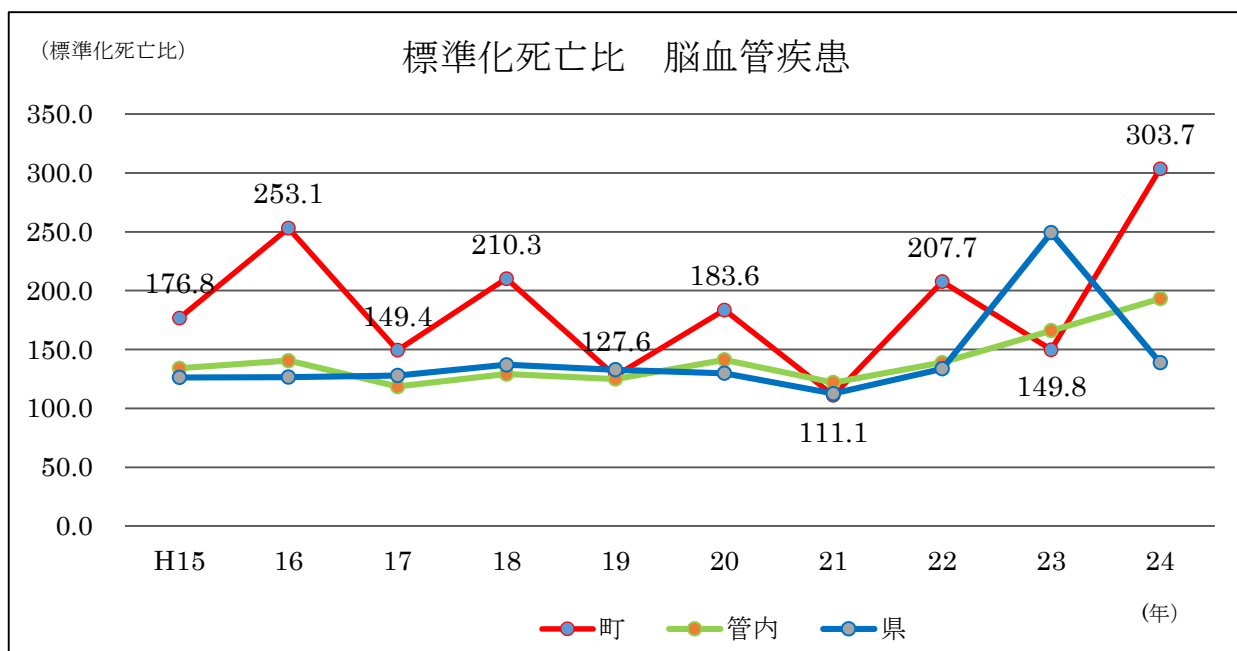
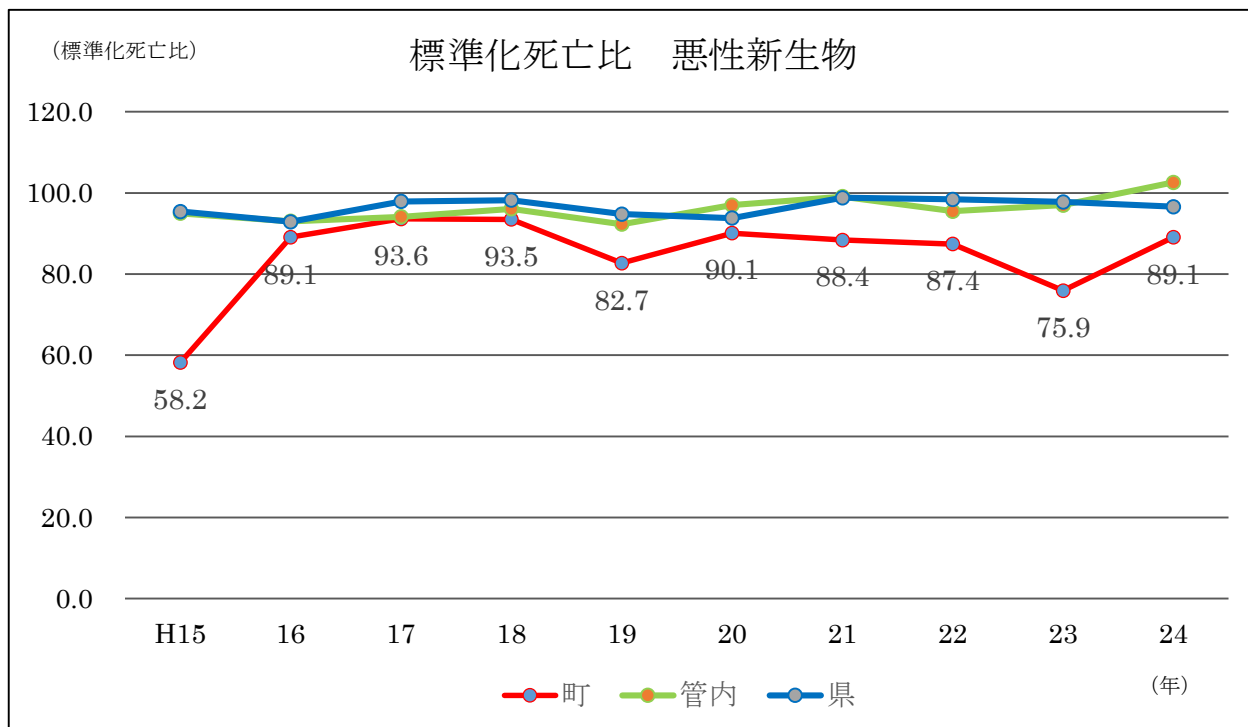


【図 2.3 資料：人口動態統計、岩手県保健福祉年報】

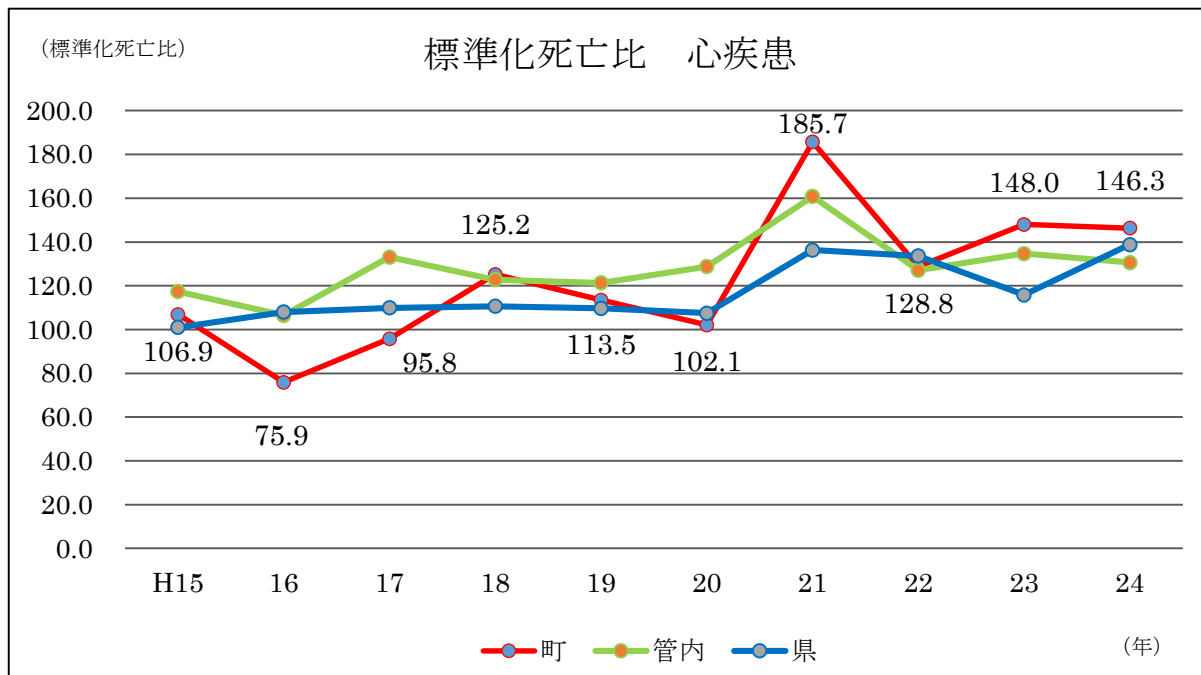
第2章

4 主要死因の推移

悪性新生物の標準化死亡比は県、管内と比較すると低く、横ばい状態で推移しています。脳血管疾患は県、管内より高く、低下傾向でしたが近年は上昇傾向で推移しています。心疾患は上昇傾向で推移しています。



第2章



岩泉町のみ数値記載

【標準化死亡比 (SMR) とは】

死亡率は通常年齢によって大きな違いがあることから、異なった年齢構成を持った地域別の死亡率をそのまま比較することはできない。比較を可能にするためには標準的な年齢構成に合わせて、地域別の年齢階級別の死亡率を算出して比較する必要がある。

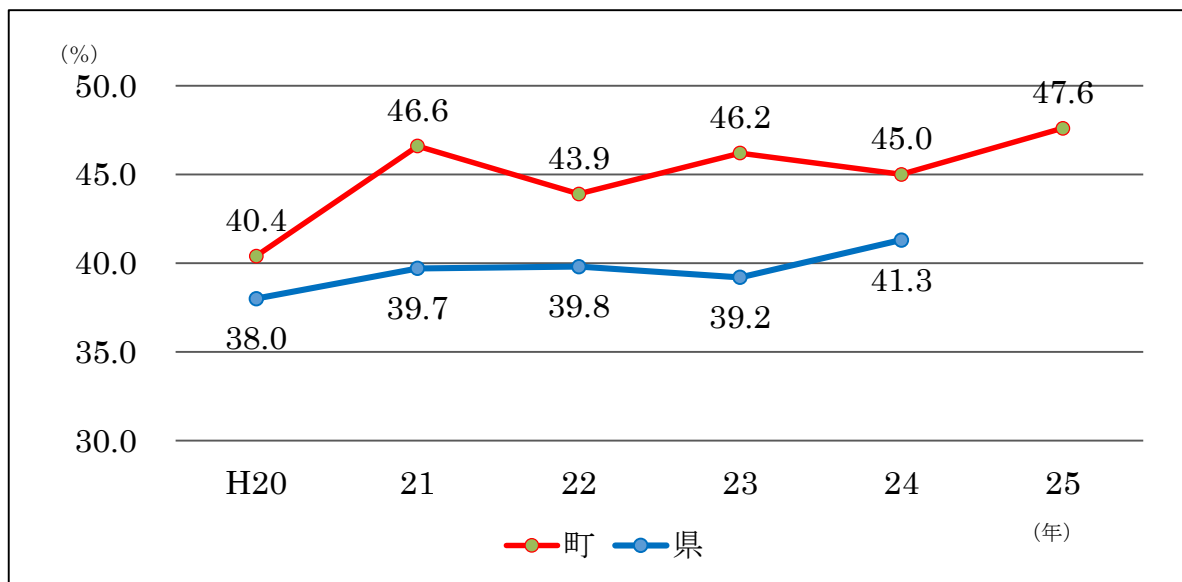
国の平均を 100 としており、標準化死亡比が 100 以上の場合は、国の平均より死亡率が多いと判断され、100 以下の場合は死亡率が低いと判断される。

第2章

第4節 町民の健康状態

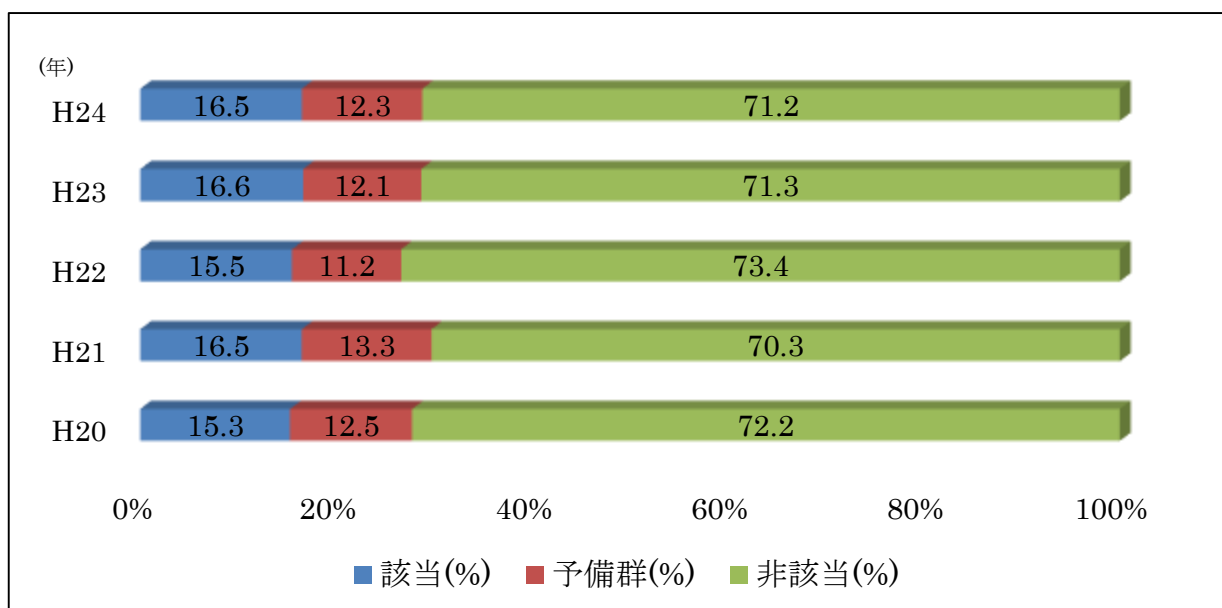
1 健康診査受診率の推移

健診受診率は上昇してきています。



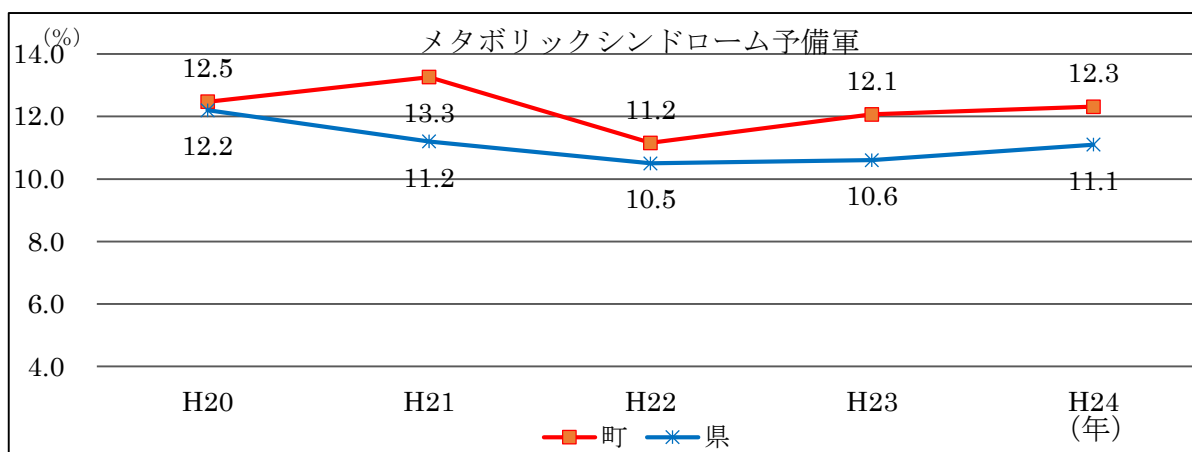
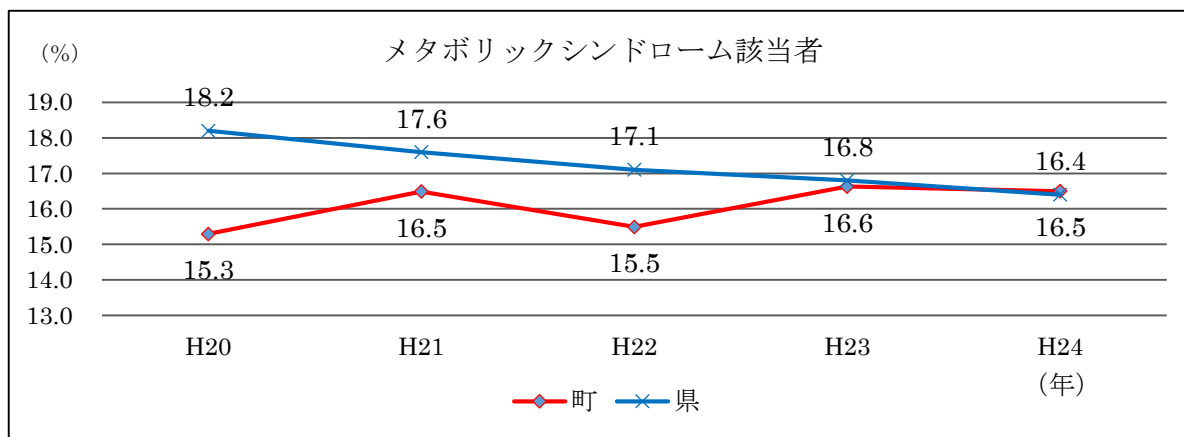
2 メタボリックシンドローム該当者の割合 -岩泉町特定健康診査-

約3割弱の方がメタボリックシンドローム該当者及び予備群となっています。



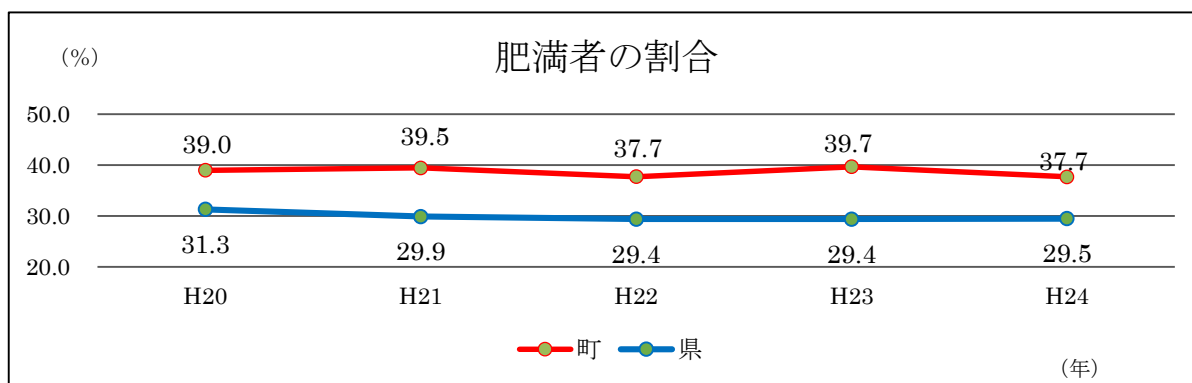
第2章

- ① メタボリックシンドローム該当者の割合は県より低い割合となっています。
 ② メタボリックシンドローム予備軍の割合は県より多く、横ばい傾向です。



3 肥満者の割合 -岩泉町特定健康診査

減少傾向にあります、県より高い状況です。

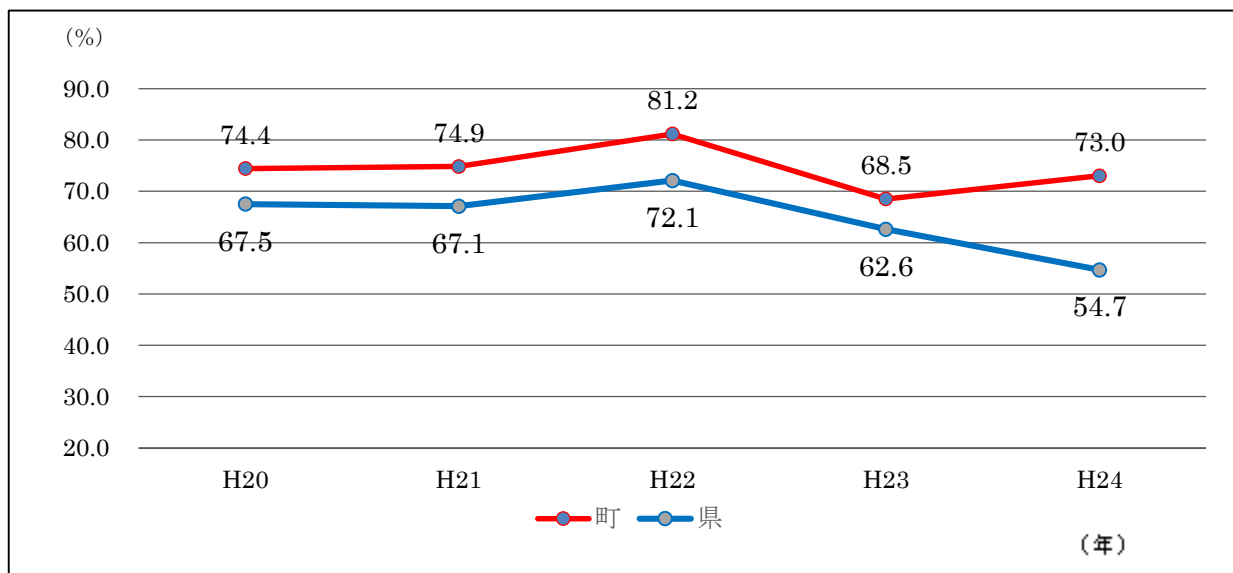


※BMI高値：BMI25以上

第2章

4 血糖値リスク保有者の割合 -岩泉町特定健康診査-

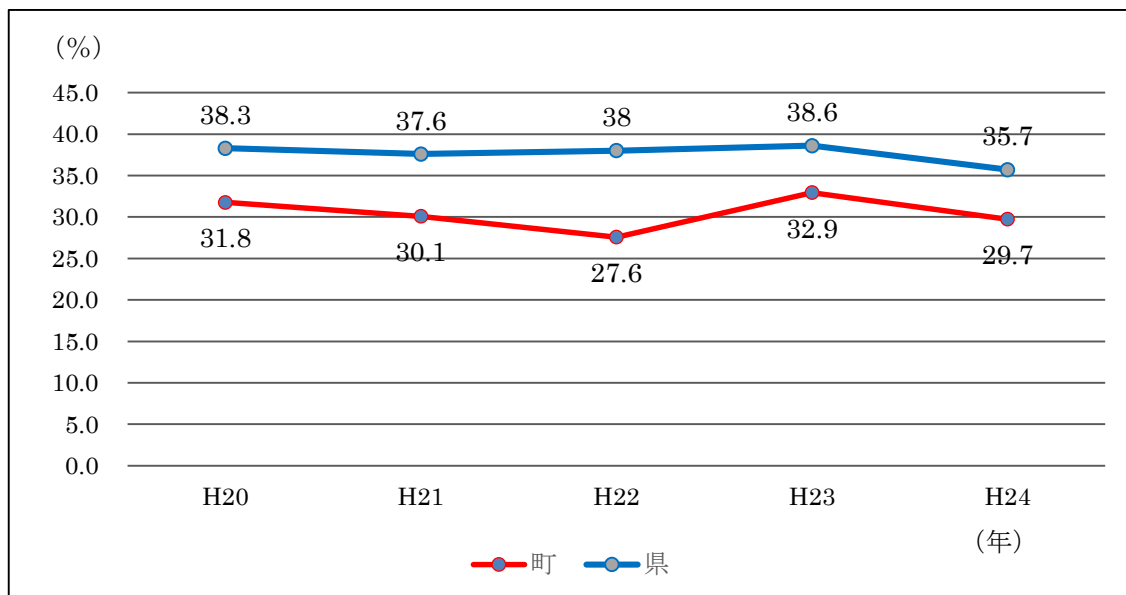
減少傾向にあります。県より高い状況です。



※血糖値リスク保有者：空腹時血糖100mg/dl 以上、又はHbA1c 5.2%以上（JDS値）、又は薬剤治療を受けている者

5 脂質リスク保有者の割合 -岩泉町特定健康診査-

県より低い状況ですが、横ばい傾向です。

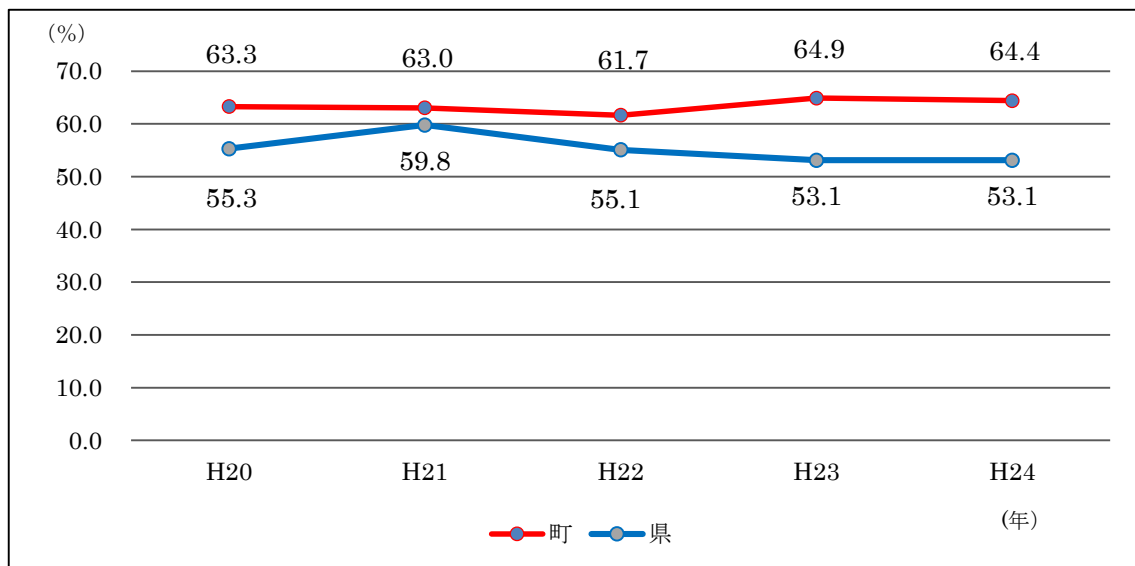


※脂質リスク保有者：中性脂肪が150mg/dl 以上 HDLコレステロール40mg/dl未満、又は薬剤治療を受けている者

第2章

6 血圧リスク保有者の割合 -岩泉町特定健康診査-

県より高く、横ばい傾向です。



※血圧リスク保有者：収縮期血圧130mmHg以上、又は拡張期血圧85mmHg以上、又は薬剤治療を受けている者

平成26年 減塩フォーラム

「脳卒中撲滅！
ほんだども しょっぺえほうが
うんめえものお」



意見発表



医師の講話

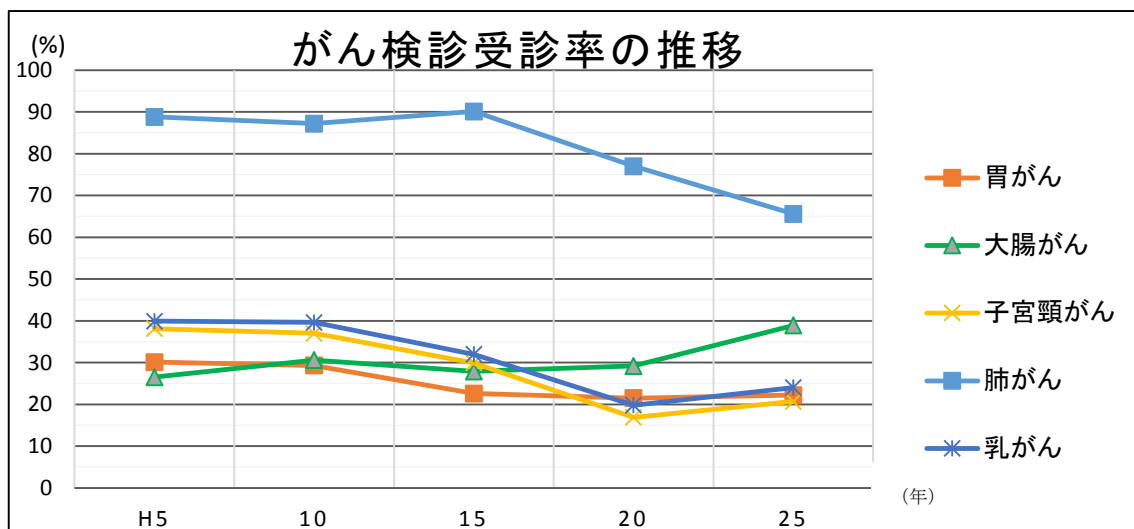


県栄養士会と食生活改善グループいわいずみ会による減塩料理試食コーナー

第2章

7 がん検診の状況

大腸がん検診の受診率は、上昇傾向で推移しています。
他のがん検診については、減少傾向で推移していますが、近年は上昇しています。



(単位：人、%)

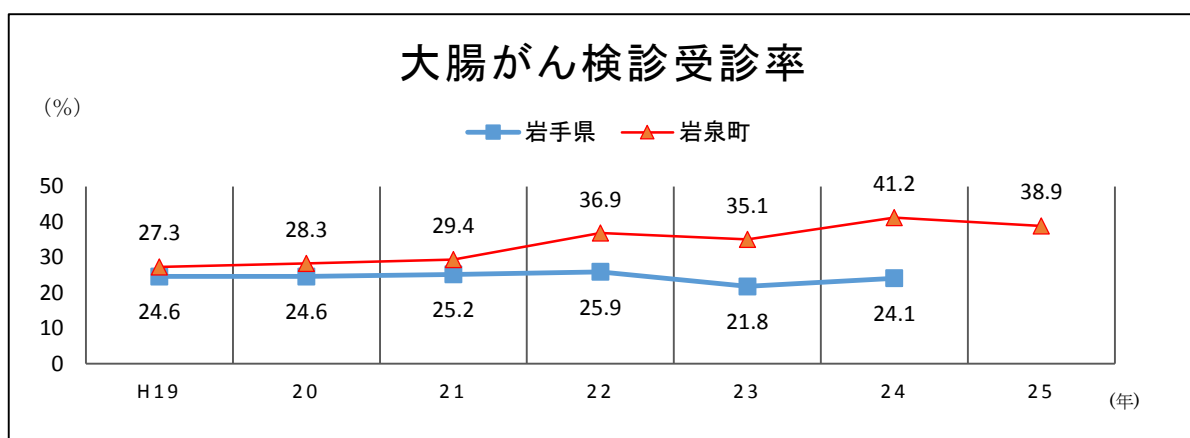
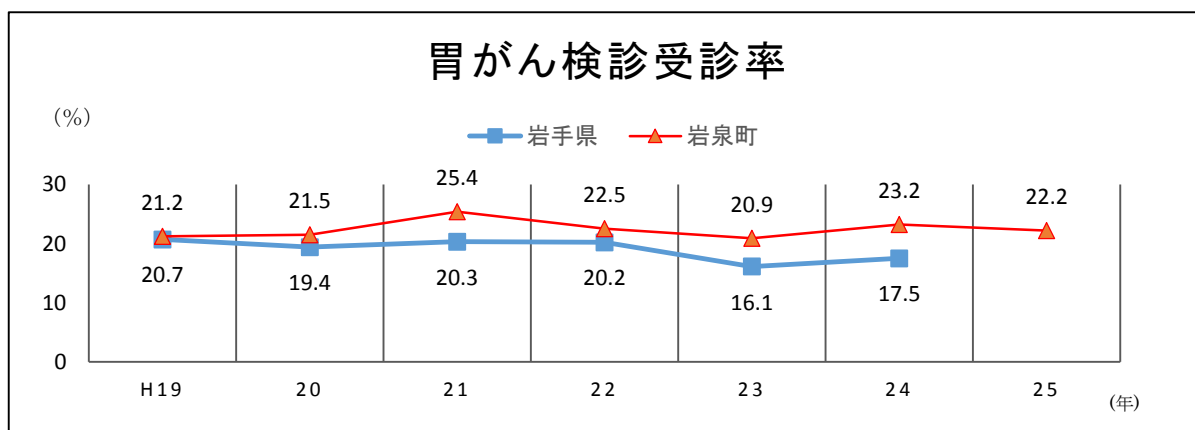
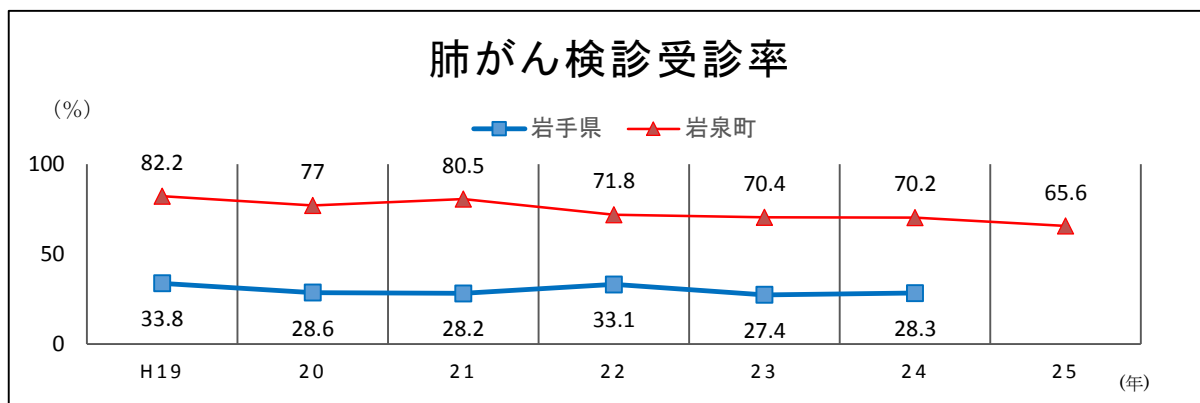
区分 (年)		H5	10	15	20	25
肺がん	受診者	4,858	4,572	4,256	3,354	2,777
	受診率	88.8	87.2	90.1	77.0	65.6
	がん発見者数	2	3	1	4	2
胃がん	受診者	1,877	1,675	1,246	1,062	931
	受診率	30.1	29.3	22.7	21.5	22.2
	がん発見者数	0	0	1	0	3
大腸がん	受診者数	1,878	2,020	1,699	1,533	1,782
	受診率	26.5	30.6	27.9	28.3	38.9
	がん発見者数	10	1	3	3	7
子宮頸がん	受診者	1,653	1,407	1,061	592	560
	受診率	38.1	37.0	29.9	16.9	20.7
	がん発見者数	2	1	0	0	0
乳がん	受診者数	1,789	1,560	1,173	638	509
	受診率	39.9	39.6	32.0	19.8	24.0
	がん発見者数	1	1	1	2	0

※子宮頸がん検診対象者：平成18年度以降は20歳以上

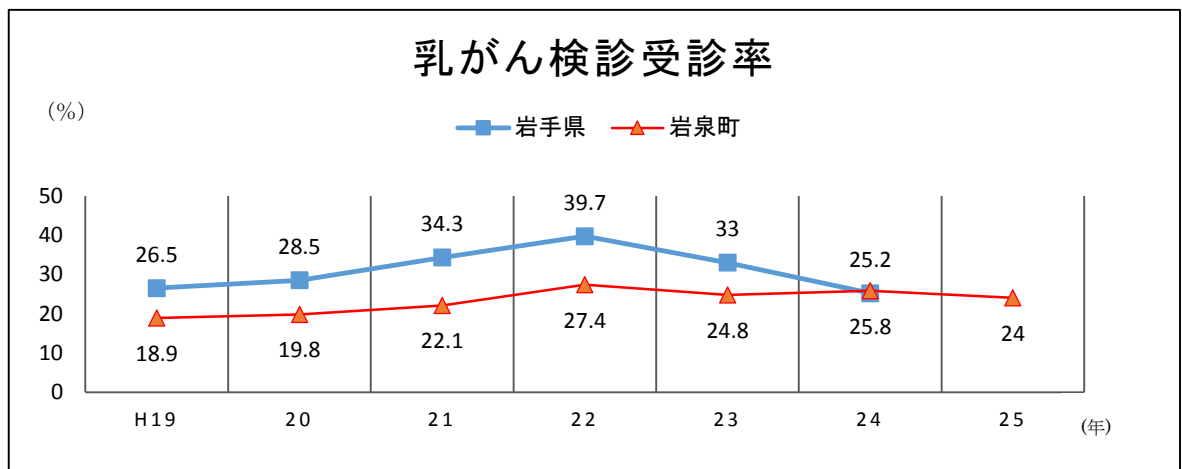
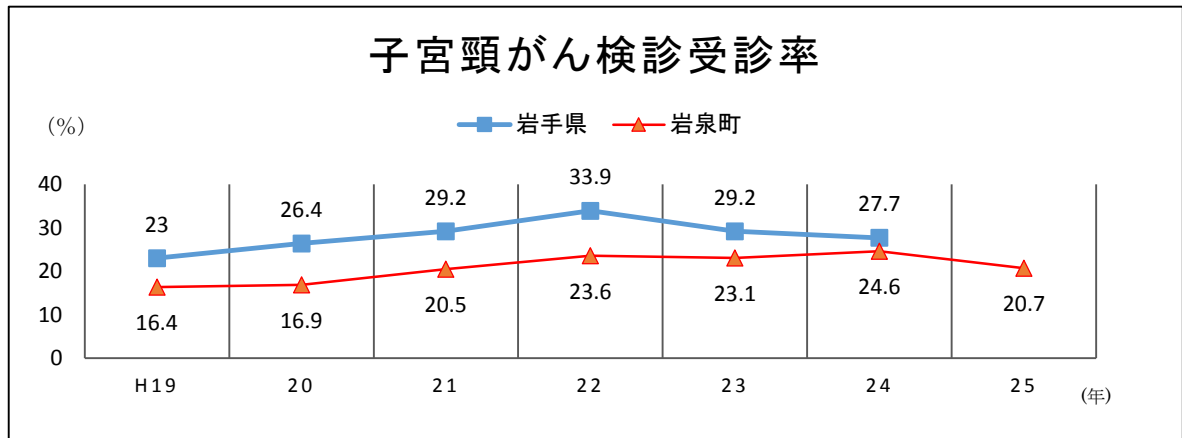
※乳がん検診対象者：平成25年度以降は40歳以上

第2章

- ① 肺がん検診、胃がん検診の受診率は、県より高いですが、肺がん検診は減少傾向、胃がん検診は横ばいの状況です。
- ② 大腸がん検診の受診率は、県より高く、上昇傾向にあります。
- ③ 子宮頸がん、乳がん検診の受診率は、県より低い状況ですが、やや上昇傾向です。



第2章

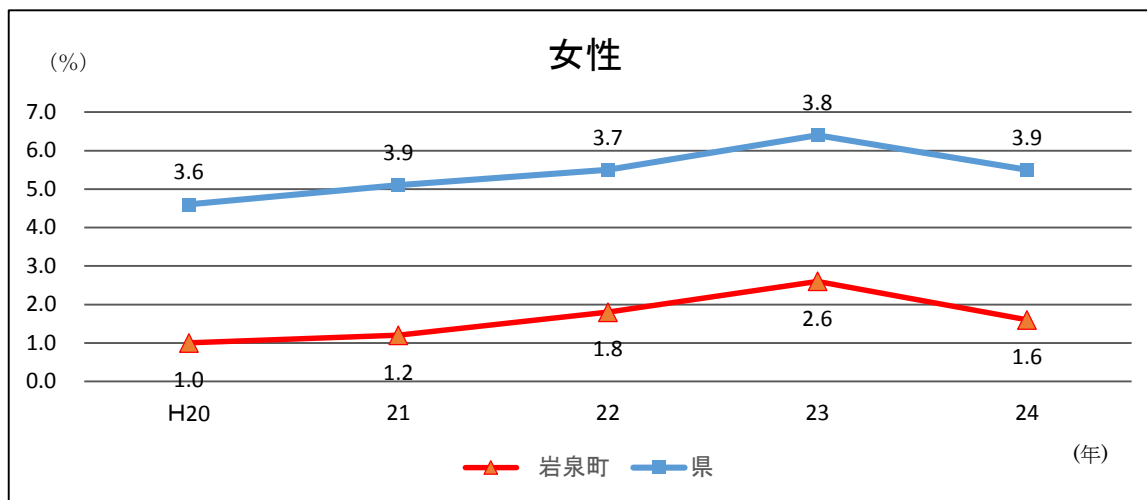
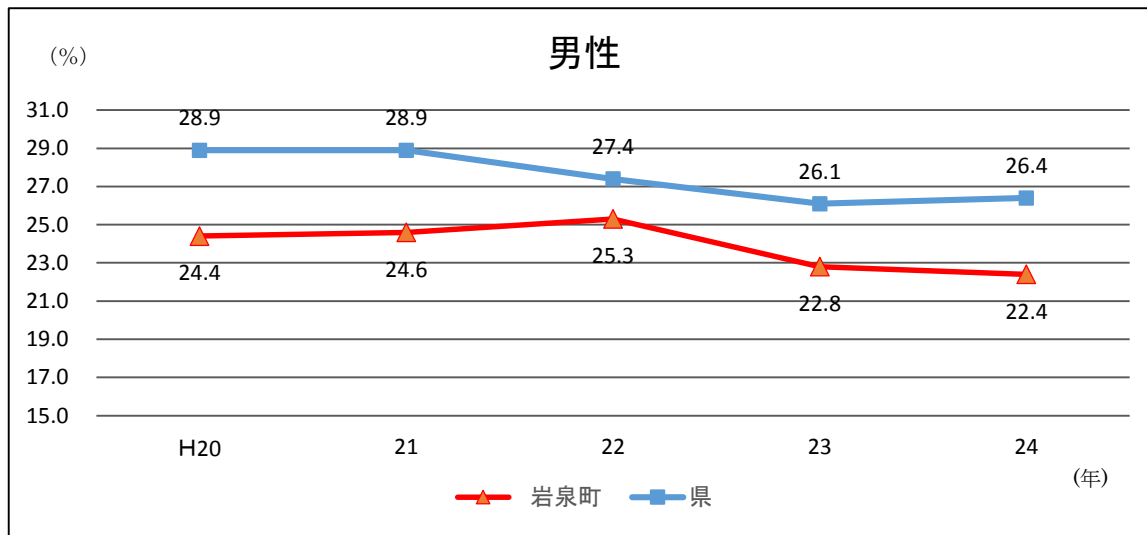


第2章

8 喫煙の状況 特定健康診査受診結果より

たばこを吸う人の割合の推移

男女とも県より低く、男性は減少傾向、女性は増加傾向です。

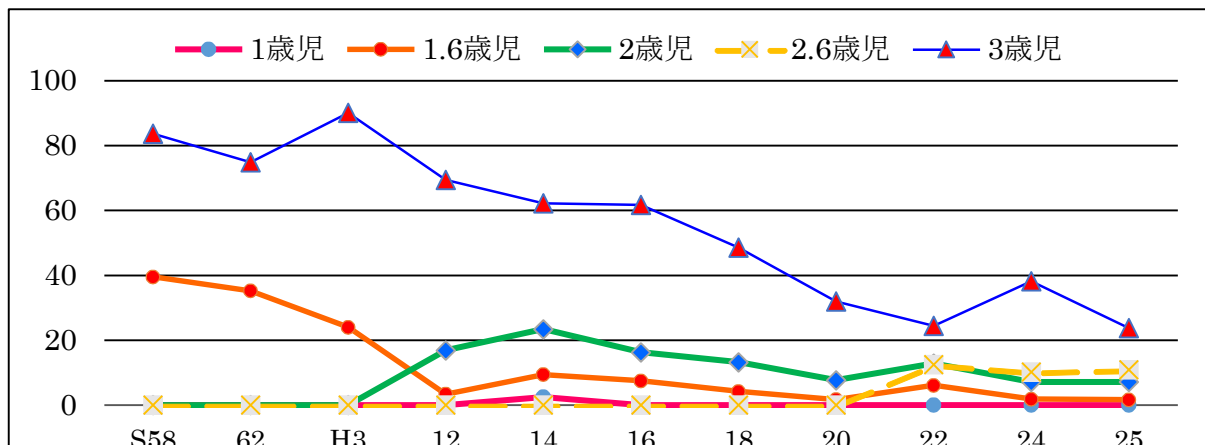


第2章

9 幼児期のう歯の状況 -幼児期の健康診査-

- ① 幼児のう歯有病者率は、ピーク時より大きく減少しています。
 ② 幼児の1人平均う歯数は、2歳児以降に増加する傾向があります。

① う歯有病率

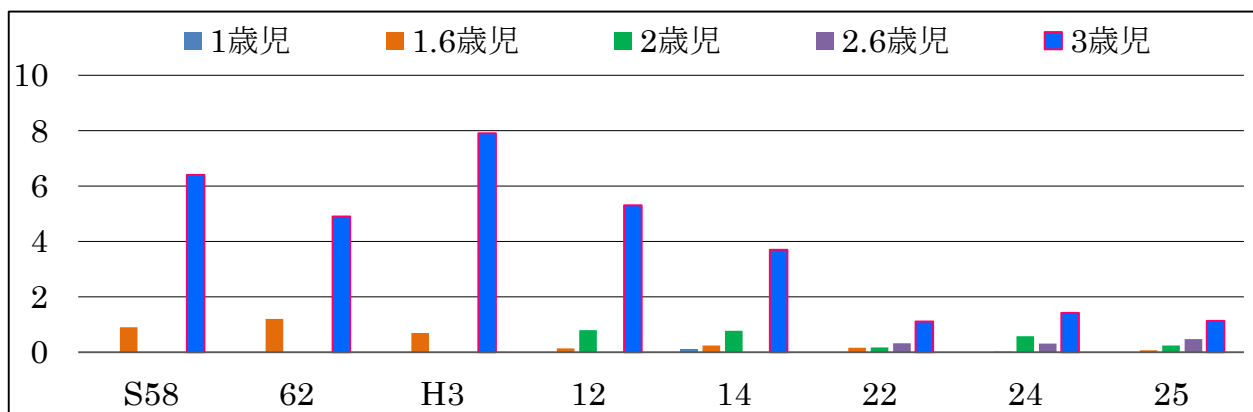


年度	S58	62	H3	12	14	16	18	20	22	24	25
1歳児				0.00	2.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1.6歳児	39.5	35.2	24	3.40	9.40	7.50	4.23	1.69	6.10	1.85	1.64
2歳児				16.90	23.40	16.30	13.20	7.70	12.80	7.14	7.16
2.6歳児									12.5	10.2	10.9
3歳児	83.7	74.9	90.1	69.4	62.2	91.7	48.57	31.94	24.5	38.18	23.81

(%)

(岩泉町幼児健康診査結果)

② 1人平均う歯本数



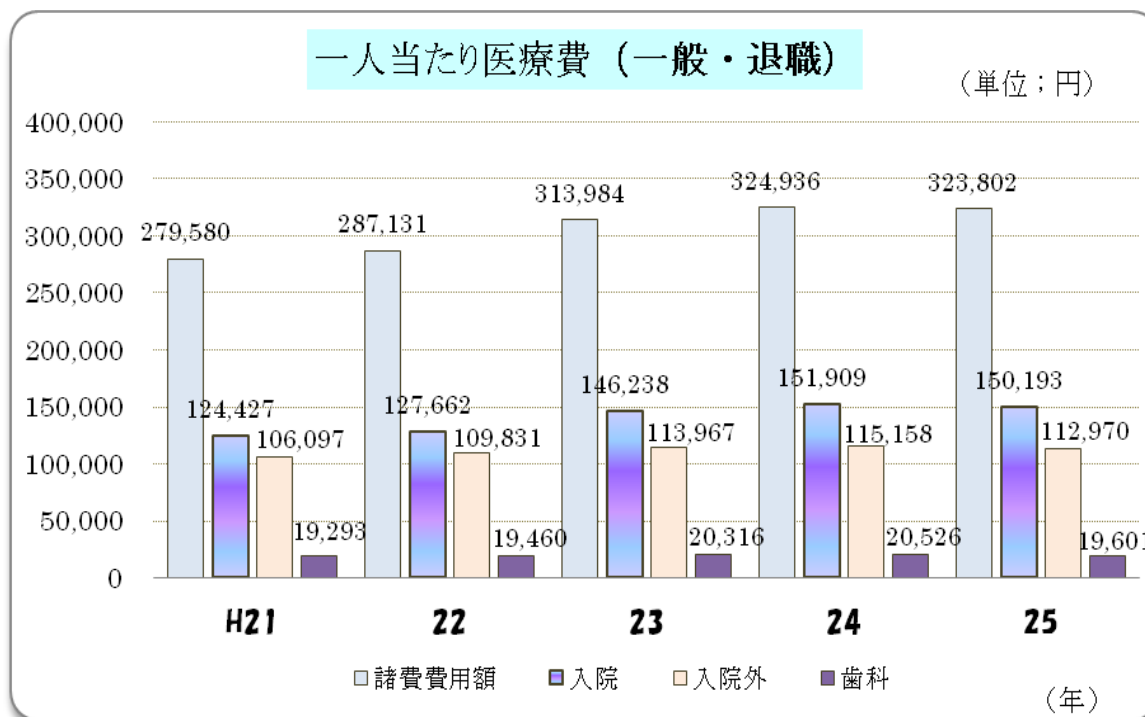
年度	S58	62	H3	12	14	22	24	25
1歳児						0.00	0.10	0.00
1.6歳児	0.90	1.20	0.70	0.14	0.24	0.16	0.02	0.07
2歳児				0.80	0.78	0.18	0.58	0.24
2.6歳児						0.33	0.31	0.48
3歳児	6.40	4.960	7.90	5.30	3.70	1.11	1.42	1.13

(本)

第2章

10 国民健康保険医療費の推移

一人当たりの医療費の合計は、平成21年度から毎年度上昇し、平成25年度は一旦横ばいとなっています。



	一般・退職	H21	22	23	24	25
一人当たり	諸費用額	279,580	287,131	313,984	324,936	323,802
	入院	124,427	127,662	146,238	151,909	150,193
	入院外	106,097	109,831	113,967	115,158	112,970
	歯科	19,293	19,460	20,316	20,526	19,601

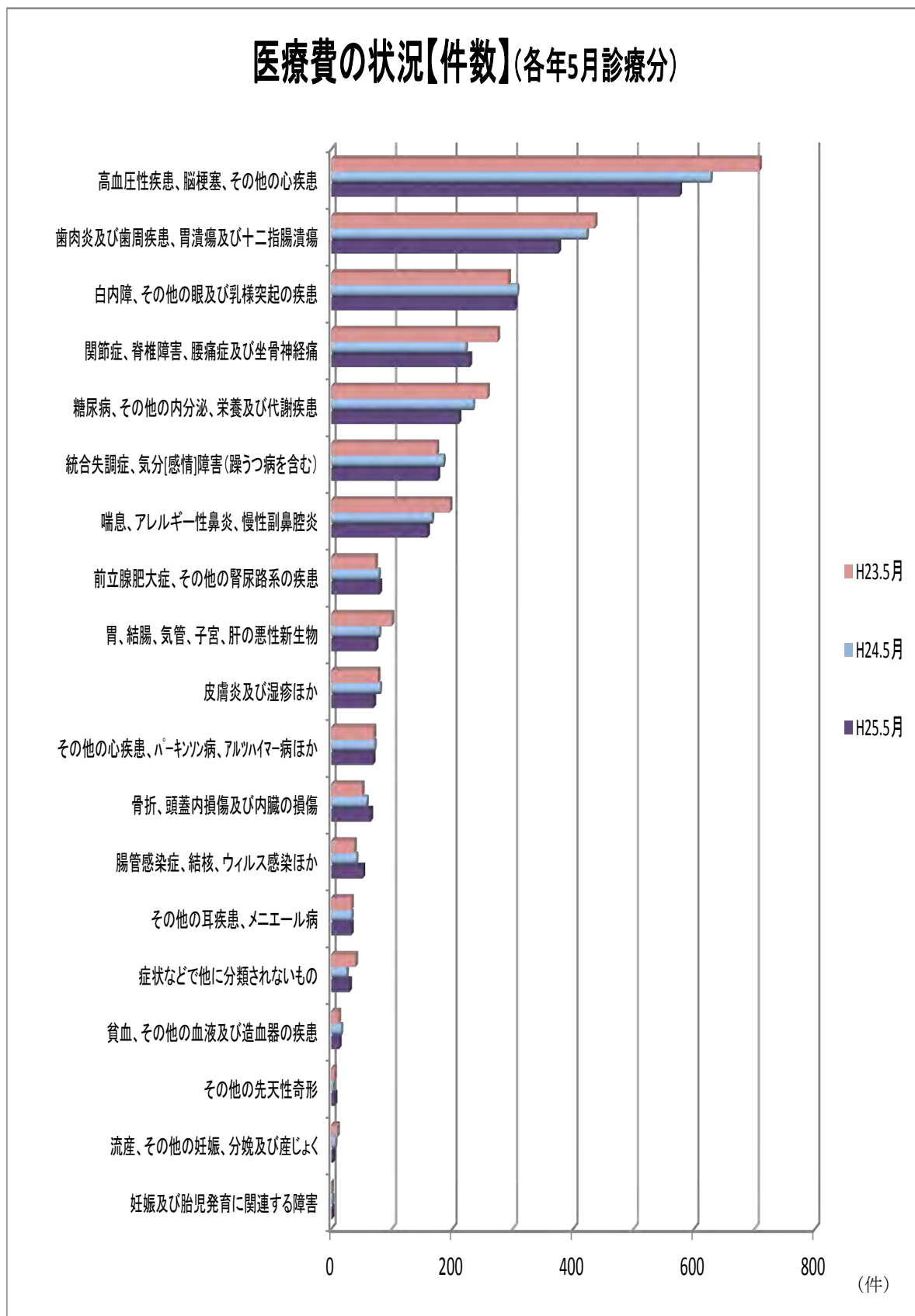
（平成26年度第1回岩泉町国民健康保険運営協議会資料より）

第2章

11 国民健康保険加入者の医療費の状況【件数】 -平成25年5月-

各年5月診療分の疾病別の医療費の状況の件数は、高血圧性疾患などの循環器系の疾患が一番多く、次が消化器系の疾患となっています。

No	疾病大分類	H23.5	H24.5	H25.5	前年比	主な疾病
1	IX循環器系の疾患	708	627	576	-8%	高血圧性疾患、脳梗塞、その他の心疾患
2	X I 消化器系の疾患	436	422	376	-11%	歯肉炎及び歯周疾患、胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
3	VII眼及び付属器の疾患	293	307	304	-1%	白内障、その他の眼及び乳様突起の疾患
4	X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	275	222	229	3%	関節症、脊椎障害、腰痛症及び坐骨神経痛
5	IV内分泌・栄養及び代謝疾患	258	234	211	-10%	糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
6	V精神及び行動の障害	174	185	176	-5%	統合失調症、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
7	X呼吸器系の疾患	196	166	159	-4%	喘息、アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎
8	XIV腎尿路生殖生殖器系の疾患	73	78	80	3%	前立腺肥大症、その他の腎尿路系の疾患
9	II新生物	100	79	74	-6%	胃、結腸、気管、子宮、肝の悪性新生物
10	X II 皮膚及び皮下組織の疾患	77	80	70	-13%	皮膚炎及び湿疹ほか
11	VI神経系の疾患	70	71	69	-3%	その他の心疾患、パーキンソン病、アルツハイマー病ほか
12	X IX 損傷・中毒及びその他の外因の影響	51	58	65	12%	骨折、頭蓋内損傷及び内臓の損傷
13	I感染症及び寄生虫症	38	41	52	27%	腸管感染症、結核、ウイルス感染ほか
14	VIII耳及び乳様突起の疾患	33	33	33	0%	その他の耳疾患、メニエール病
15	X VIII 症状・兆候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	40	25	30	20%	症状などで他に分類されないもの
16	III血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	12	16	13	-19%	貧血、その他の血液及び造血器の疾患
17	X VII 先天奇形・変形及び染色体異常	5	3	6	100%	その他の先天性奇形
18	X V 妊娠・分娩及び産じょく	10	6	3	-50%	流産、その他の妊娠、分娩及び産じょく
19	X VI 周産期に発生した持病	0	1	1	0%	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	合計	2,849	2,654	2,527	-5%	



(平成 26 年度第 1 回岩泉町国民健康保険運営協議会資料より)

第2章

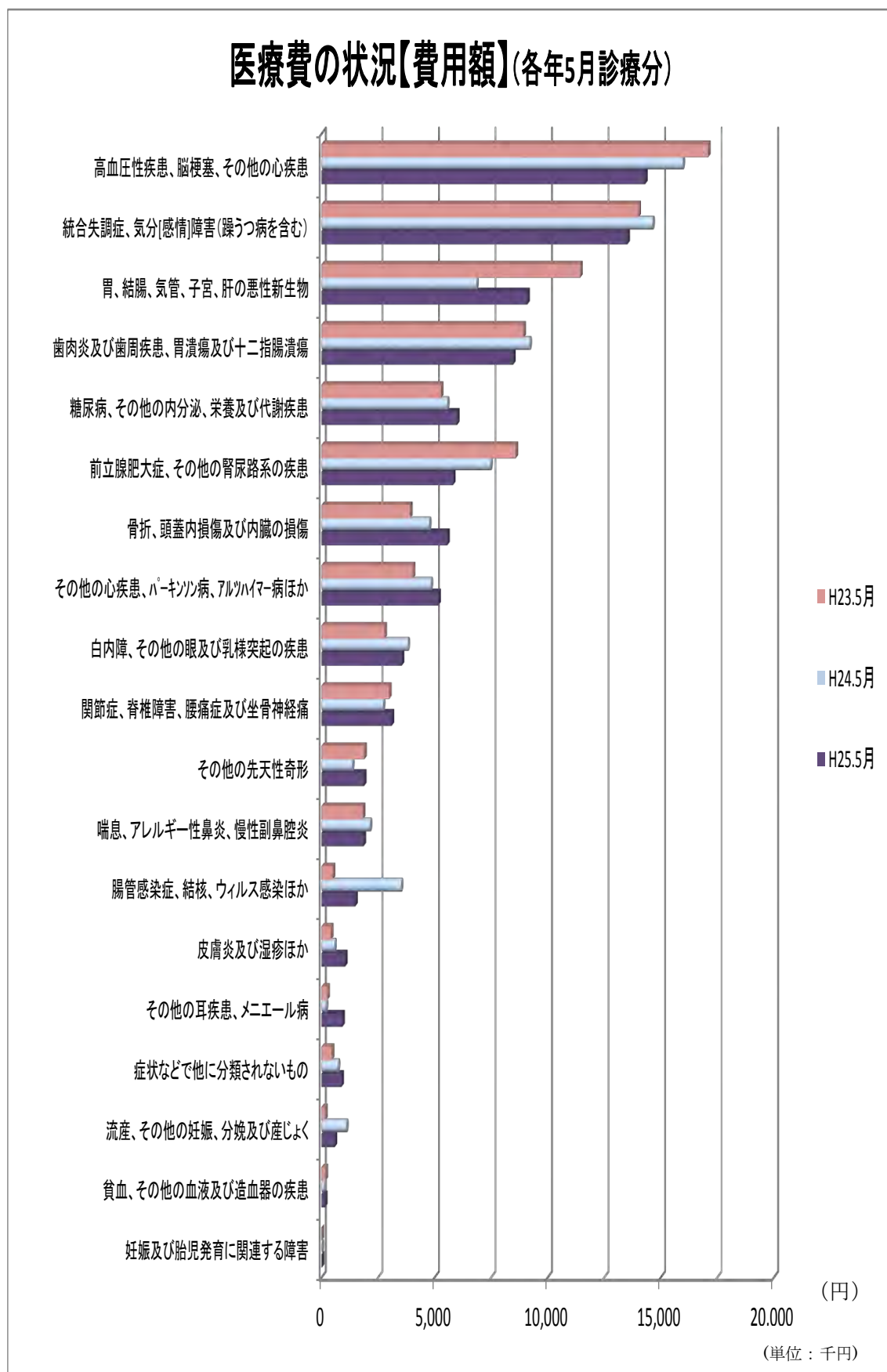
12 国民健康保険加入者の医療費の状況【費用額】 -平成25年5月-

各年5月診療分の疾病別の医療費の状況は、一番費用が多い疾病は、高血圧性疾患などの循環器系の疾患、次が統合失調症などの精神及び行動の障害、次が悪性新生物となっています。

No	疾病大分類	H23.5	H24.5	H25.5	前年比	主な疾病
1	IX循環器系の疾患	17,093	15,968	14,312	-10%	高血圧性疾患、脳梗塞、その他の心疾患
2	V精神及び行動の障害	14,012	14,631	13,526	-8%	統合失調症、気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
3	II新生物	11,438	6,846	9,100	33%	胃、結腸、気管、子宮、肝の悪性新生物
4	X I 消化器系の疾患	8,926	9,195	8,473	-8%	歯肉炎及び歯周疾患、胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
5	IV内分泌・栄養及び代謝疾患	5,279	5,553	5,996	8%	糖尿病、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患
6	XIV腎尿路生殖器系の疾患	8,586	7,463	5,816	-22%	前立腺肥大症、その他の腎尿路系の疾患
7	XIX 損傷・中毒及びその他の外因の影響	3,917	4,753	5,561	17%	骨折、頭蓋内損傷及び内臓の損傷
8	VI神経系の疾患	4,039	4,826	5,167	7%	その他の心疾患、パーキンソン病、アルツハイマー病ほか
9	VII眼及び付属器の疾患	2,782	3,804	3,548	-7%	白内障、その他の眼及び乳様突起の疾患
10	XIII筋骨格系及び結合組織の疾患	2,988	2,715	3,103	14%	関節症、脊椎障害、腰痛症及び坐骨神経痛
11	XVII先天奇形・変形及び染色体異常	1,890	1,352	1,881	39%	その他の先天性奇形
12	X呼吸器系の疾患	1,824	2,136	1,859	-13%	喘息、アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎
13	I感染症及び寄生虫症	500	3,510	1,494	-57%	腸管感染症、結核、ウイルス感染ほか
14	XII皮膚及び皮下組織の疾患	419	571	1,043	83%	皮膚炎及び湿疹ほか
15	VIII耳及び乳様突起の疾患	255	190	922	385%	その他の耳疾患、メニエール病
16	XVIII症状・兆候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	458	722	880	22%	症状などで他に分類されないもの
17	XV妊娠・分娩及び産じょく	162	1,088	582	-47%	流産、その他の妊娠、分娩及び産じょく
18	III血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	179	118	155	31%	貧血、その他の血液及び造血器の疾患
19	XVI周産期に発生した持病	0	4	17	325%	妊娠及び胎児発育に関連する障害
	合計	84,747	85,445	83,435	-2%	

(単位：千円)

医療費の状況【費用額】(各年5月診療分)



(平成26年度第1回岩泉町国民健康保険運営協議会資料より)

第2章

第5節 第一次計画の評価

第一次健康いわずみ計画（平成20～24年度）について、アンケート調査の結果と事業実績から次のように評価しました。

1 評価の基準

(1) 各指標の評価基準

区分	到達度	到達度の算定方法
aa	100%以上	① 基準値に対して、実績値を増加させる目標値である場合 $(\text{実績値} - \text{基準値}) \div (\text{目標値} - \text{基準値}) \times 100$ ② 基準値に対して、実績値を減少させる目標値である場合 $(\text{基準値} - \text{実績値}) \div (\text{基準値} - \text{目標値}) \times 100$ ※1 事業内容に変更があり、正確な評価ができない場合は、評価不能と判断する。 ※2 上記の計算式が成立しない場合は、目標値と実績値のみで到達度を算出したうえで、個別に協議する。
a	50%以上	
b	50%未満	
C	0%未満	
d	評価不能	

各指標の到達度を算定して、5段階（a a～d）で判定しました。

(2) 各領域の評価基準

各領域内の指標の評価を受け、4段階（AA～C）で判定しました

区分	内容	評価基準
AA	大幅に改善	a aが半数以上
A	改善	a以上が半数以上
B	停滞	b以上が半数以上
C	後退	b以下が半数以上

第2章

2 評価の結果

上記の基準によって各領域を評価したところ、下記のとおりになりました。

領域	評価可能 指標数	指標評価					領域別評価
		aa	a	b	c	d	
栄養・食生活	3	0	1	1	1	0	B
運動・身体活動	2	0	0	0	2	3	C
休養・こころ	5	2	0	1	2	3	C
タバコ	4	3	0	1	0	0	AA
アルコール	3	2	0	0	1	0	A
歯の健康	11	9	0	0	2	2	AA
生活習慣病	9	0	1	3	5	0	C
がん	15	1	1	5	8	1	C
不慮の事故	3	1	0	1	1	0	C
総合	55	18	3	12	22	9	B

第2章

3 各領域の評価

※基準値は第一次健康いわずみ21プランに掲げた数値、実績値はアンケート調査及び事業実績、統計による数値です。

(◎印はアンケートの結果から、□印は岩手県がん等疾病支援システムから、それ以外は事業実績などによる)

目標値を数値設定していなかった項目は基準値に対して増加か減少かで評価し、☆印にしました。

(1) 栄養・食生活

① 最終評価

B 停滞

② 評価の詳細

指 標		基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評 価				
						aa	a	b	c	d
領域目標	朝食を摂る人の割合 (%)	児童91.8 生徒88.9 (学校保健会生活アンケート)	□ 児童94.7 生徒91.5	児童100 生徒100	児童35.4 生徒23.4			○		
	肥満者の割合 (%)	男41.6 女48.3 (H16多項目健診結果)	男42.4 女40.5 (特定健診結果)	男31.6 女28.3	男▲8.0 女78.0		女 ○		男 ○	
指標数						0	1	1	1	0
評価可能指標数						3				

第2章

(2) 運動・身体活動

① 最終評価

C 後退

② 評価の詳細

指 標	基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評 価					
					aa	a	b	c	d	
領域目標	(成人) 意識的に運動する 人の割合 (%)	男50.6 女54.8 (肺がん検診 時アンケート)	◎ 男22.0 女30.6	男63.0 女65.0	男▲230.6 女▲237.3				○	
	運動する習慣のあ る人の割合 (%)	男38.0 女32.0	男25.3 女23.3 (H24 特 定健診結 果)	男40.0 女35.0	男▲635.0 女▲290.0				○	
	(高齢者) 積極的に 外出する人の割合 (%)	75.9		80.0	—					○
	地域活動へ参加し ている人の割合 (%)	82.1		85.0	—					○
	日常生活での歩数 (歩)	H20 20代7,369 30代7,440 40代8,382 50代10,051 60代8,362	—	各年代 1,000増						○
指標数					0	0	0	2	3	
評価可能指標数					2					

第2章

(3) 休養・こころの健康

① 最終評価

C 後退

② 評価の詳細

指 標		基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評 価				
						aa	a	b	c	d
領域 目標	就寝時間 (%)	児童9時までに 75.2 生徒10時までに 56.2	□ 9時台までに就寝する 児童80.3 10台までに就寝する生 徒23.9	児童90.0 生徒64.6	児童34.5 生徒▲ 384.5			児童 ○	生徒 ○	
	睡眠が十分で熟睡し ている人の割合 (%)	十分満足25.7 満足34.0 不満32.5 全く不満7.8	—	十分満足・ 満足で 65以上						○
	最近1ヶ月にストレ スを感じた人の割合 (%)	感じない8.8 それほど19.9 少し33 感じない38.3	◎ ない2 あまりない 26.5 どちらとも 13.7 少し41.2 かなり16.7	—						○
	うつのチェック項目 (%)	充実感ない12 楽しめない9 おっくう30 役に立たない 22 疲れる27	—	減少						○
	自殺者の人数 (人)	男 3 女 1 H18	男4女2 H24	0	男▲33.3 女▲100				○	
	子どもとゆったり過 ごせる人の割合 (%)	1.6歳70 3歳56.7	□ 79.3 57.1	増加		☆				
	育児の相談相手 (%)	1.6歳88.6 3歳90.5	□ 91.2 94.3	増加		☆				
指標数						2	0	1	2	3
評価可能指標数						5				

第2章

(4) タバコ

① 最終評価

AA 大幅に改善

② 評価の詳細

指 標		基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評 価				
						aa	a	b	c	d
領域 目標	成人の喫煙者 (%)	男 23 女 2	男22.3 女1.7 (特定健 診結果)	減少	減少			☆		
	喫煙と健康に関する 知識を持つ人の割合 (%)	64 (H20)	◎ 98.1	80以上	213.1	○				
	未成年者の喫煙率 (%)	未把握	未把握							○
	妊娠中の喫煙率 (%)	5.0 (H18)	0	減少	100	○				
	妊婦の同居者の喫煙 率 (%)	夫87.9 その他の 家族16.2 (H18)	□ 夫91.3 その他の 家族21.7	減少	減少	☆				
指標数						3	0	1	0	1
評価可能指標数						4				

第2章

(5) アルコール

① 最終評価

A 改善

② 評価の詳細

指標	基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評価					
					aa	a	b	c	d	
領域目標	多量に飲酒する 人の割合(2合以上) (%)	男3.5 女0.2 (毎日2合以上)	男14.2 女0.3 (飲酒日の1日 当たり2合以上) (特定健診結果)	男減少 女0%	男 増加 女▲50.0				☆	
	アルコールと健康に関する知識 を持つ割合(%)	正答率47	◎ 健康への悪影響の理解 96.1	60	377.7	○				
	妊婦の飲酒率 (%)	飲まない 36.7 (H18)	□ 51.2	増加	増加	☆				
指標数					2	0	0	1	0	
評価可能指標数					3					

※「aa」が半数以上ではあるが、評価項目が少ない中での「半数以上」であることと、「多量に飲酒する人の割合」は男女共、増加していることから、最終評価は「A 改善」とした。

第2章

(6) 歯の健康

① 最終評価

AA 大幅に改善

② 評価の詳細

指標	基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評価					
					aa	a	b	c	d	
領域目標	1歳6か月でむし歯がない子 (%)	95.8	98.40	97	216.7	○				
	3才児でむし歯がない子 (%)	51.4	76.2	60	288.4	○				
	3歳までにフッ化物塗布をしている子 (%)	93.9	98.40	98以上	109.8	○				
	1日2回以下の間食をしている子 (%)	79.5	87.30	85以上	141.8	○				
	小学1年生(永久歯)一人当たりむし歯本数(本)	0.18	0.00	0.05	138.5	○				
	小学6年生一人当たりむし歯本数(本)	1.67	0.64	1.5	605.9	○				
	中学3年生一人当たりむし歯本数(本)	3.13	1.89	2	109.7	○				
	40歳以上で年1回定期的に歯科健診を受ける人 (%)	30.9	◎ 23.80	35	▲173.2				○	
	1日1回以上歯を磨く人 (%)	96.4	◎ 98.10	98	106.3	○				
	歯間清掃用具を使用している人 (%)	46.0	◎ 65.10	50	477.5	○				
	65歳以上で20本以上歯が残っている人(人)	—	—	—						○
	65歳以上で何でも噛んで食べることができる人 (%)	83.4	—	91						○
	80歳以上20本以上歯が残っている人(人)	11	9	12	▲200				○	
指標数					9	0	0	2	2	
評価可能指標数					11					

第2章

(7) 生活習慣病

① 最終評価

C 停滞

② 評価の詳細

指 標		基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評 価				
						aa	a	b	c	d
領域 目 標	メタボ該当者 メタボ予備軍減少 (%)	15.5 (H20) 12.5 (H20)	19.0 11.5 (特定健 診結果)	減少	該当者は 増加 予備軍は 減少			予 備 軍	該 当 者	
	特定健診受診率 保健指導実施率向上 (%)	40.4 (H20) 29.3 (H20)	47.6 34.2	65 45 (H24)	18.7 86.0		指 導	健 診		
	虚血性心疾患死亡 数・標準化死亡比減 少(人、%)	24 95.8 (H17)	40 146.3 (H24)	減少	増加				☆	
	脳血管疾患標準化死 亡比減少(人)	29 149.4 (H17)	51 303.7 (H24)	減少	増加				☆	
	生活習慣病早世の減 少(人)	29 虚血性心疾 患3 脳血管疾患 7 (H17)	1 2 (H24)	減少	減少			☆		
	高血圧疾患1回あた り点数減少(点)	H18 1,147.3	H25※ 1,564.6	減少	増加				☆	
	糖尿病1回当たり点 数減少(点)	H18 1,479.9	H25※ 4,111.3	減少	増加				☆	
指標数						0	1	3	5	0
評価可能指標数						9				

※点数÷件数 (平成26年度第1回岩泉町国民健康保険運営協議会資料より)

第2章

(8) がん

① 最終評価

C 後退

② 評価の詳細

指標	基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評価					
					aa	a	b	c	d	
領域目標	胃がん検診の受診率 (%)	男19.9 女20.6	23.3 21.3	50.0	11.3 2.4			○		
	胃がん検診の精検受診率 (%)	男72.7 女88.2	81.6 85.7 (H24)	95.0	39.9 ▲36.8			男 ○	女 ○	
	子宮頸がん検診の受診率 (%)	28.2	36.6	50.0	38.5			○		
	子宮頸がん検診精検受診率 (%)	91.4	57.1	100	▲398.8				○	
	乳がん検診の受診率 (%)	32.4	24.9	50.0	▲42.6				○	
	乳がん検診精検受診率 (%)	100	50.0	100	減少				☆	
	肺がん検診の受診率 (%)	男74.6 女84.6	59.31 70.5	85.0	▲149.0 ▲3525.0				○	
	肺がん検診精検受診率 (%)	男85.9 女73.7	75.0 84.4 (H24)	95.0	▲119.8 50.2		女 ○		男 ○	
	結核検診受診率 (%)	男87.1 女90.6	男女別で集計していない	100	減少			☆		
	結核検診精検受診率 (%)	男74.5 女84.3	男女別で集計していない	100						☆
	大腸がん検診受診率 (%)	男24.6 女27.9	36.8 40.6	50.0	48.0 57.5			○		
	大腸がん検診精検受診率 (%)	男85.7 女90.0	89.3 87.2 (H24)	95.0	38.7 ▲56.0			男 ○	女 ○	
	前立腺がん検診受診率 (%)	11.8	30.8	21.0	206.5	○				
	指標数					1	1	5	8	1
評価可能指標数					15					

第2章

(9) 不慮の事故

① 最終評価

C 後退

② 評価の詳細

指 標		基準値 (H19)	実績値 (H25)	目標値	到達度	評 価				
						aa	a	b	c	d
領域 目標	不慮の事故死亡者数 (人)	男 2 女 4 (H17)	男4 女6 (H24)	男0 女0	▲100 ▲50				○	
	応急処置法等の講習 会（消防防災課より） (回、人)	45 1,088	26 378	増加	減少			☆		
	AED設置台数 (消防防災課より） (基)	12	50	各小学校 区へ設置	増加	☆				
指標数						1	0	1	1	0
評価可能指標数						3				